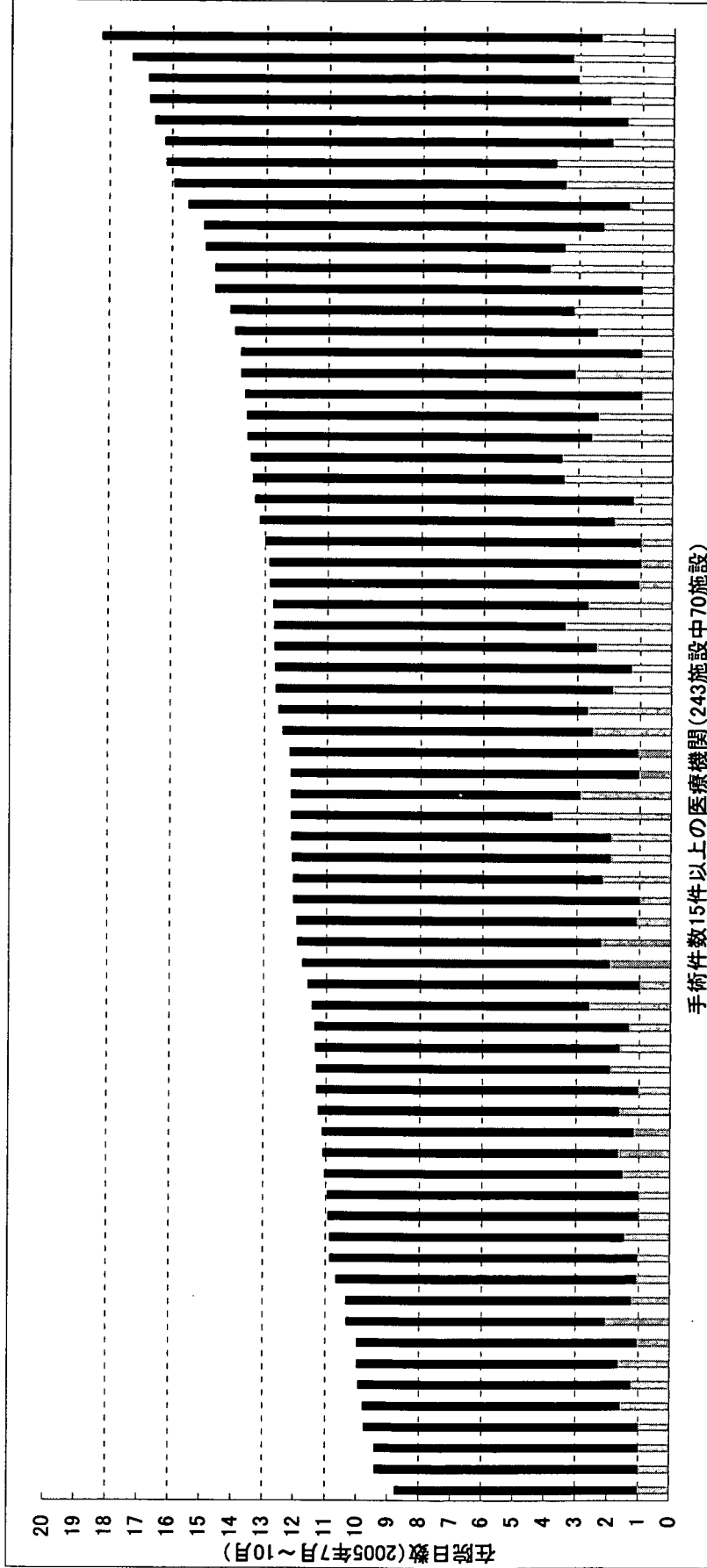


子宮の良性腫瘍・子宮全摘術施行症例における平均在院日数(N = 1,618)

分類名	解析対象DPC番号の範囲	解析内容	パーセンタイル										
			平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
子宮の良性腫瘍	1200603x01	在院日数	12.6	2.1	8.8	18.3	9.8	10.0	11.2	12.2	13.7	16.0	16.7
		術後在院日数	10.7	1.8	7.7	15.9	8.3	8.7	9.5	10.2	11.6	13.6	14.2
		術前在院日数	1.9	0.9	1.0	3.9	1.0	1.0	1.1	1.7	2.5	3.4	3.5



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(15件以上)の施設を解析対象とした。

解析対象子一タには、DPC手術コード:01における子宮全摘出術[Kコード:K876, K877]が含まれる。

■ : 術前在院日数

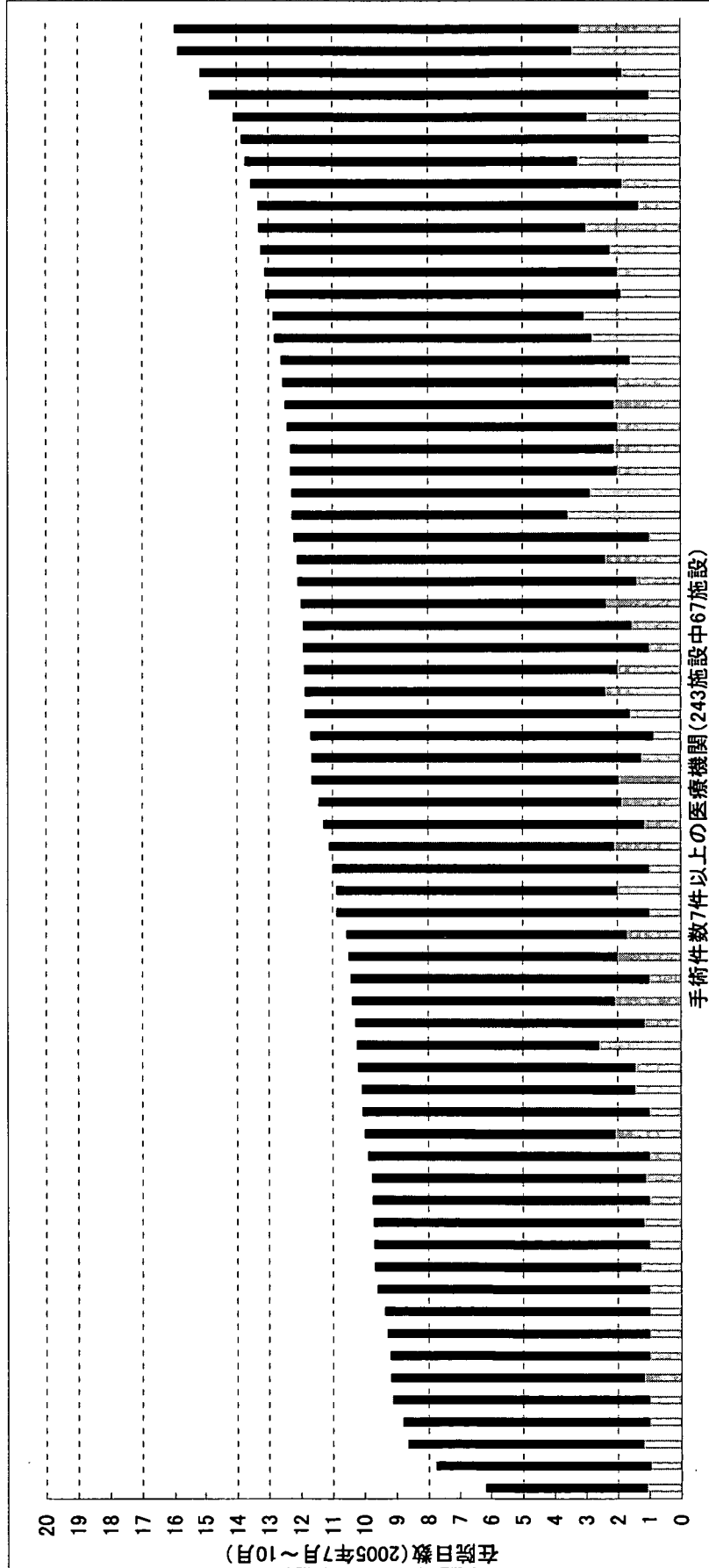
■ : 術後在院日数

【コメント】

外れ値両側5%を除外し、手術件数15件以上(件数上位25%)の70施設を解析対象とした。術前在院日数は1~4日に分布していて施設間のバラツキは小さく、術後在院日数も約1~2週間の分布であった。また、外れ値下位2.5%未満に54件が相当したが、そのうち15件と10件がそれぞれ1施設で占められていた。

子宮の良性腫瘍・子宮筋腫核出術等施行症例における平均在院日数(N = 926)

分類名	解析内容	パーセントाइル										
		平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
子宮の良性腫瘍	在院日数	11.4	1.9	6.2	16.0	8.9	9.3	10.0	11.7	12.5	13.6	14.6
	術後在院日数	9.7	1.6	5.1	13.9	7.7	8.1	8.7	9.7	10.5	11.4	12.7
	術前在院日数	1.7	0.7	0.8	3.6	1.0	1.0	1.0	1.6	2.1	2.9	3.2



【図の説明】

外れ値両側5%を除き、件数上位25%(7件以上)の施設を解析対象とした。

解析対象データには、DPC手術コード:01における子宮筋腫核出術[Kコード:K8721, K8722]が含まれる。

■ : 術前在院日数

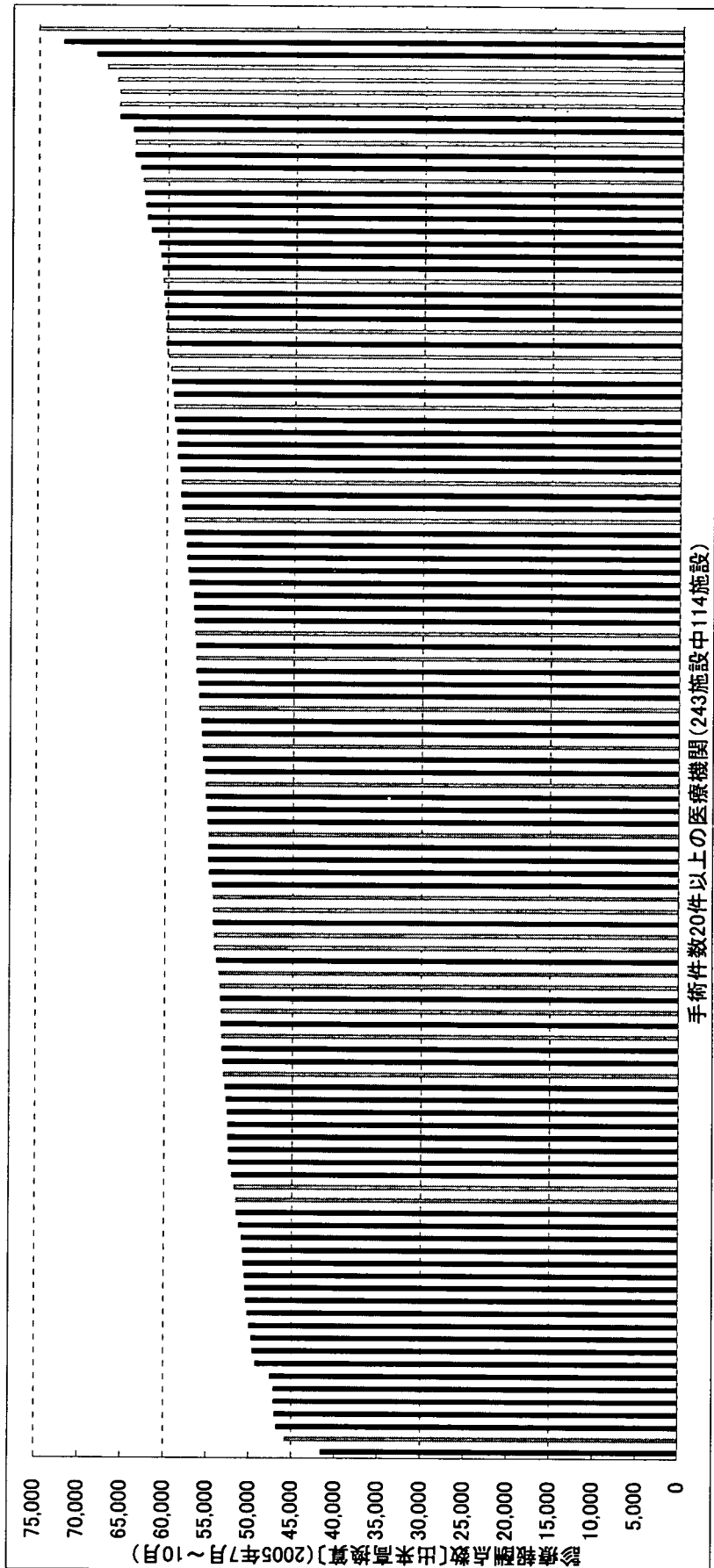
■ : 術後在院日数

【コメント】

外れ値両側5%を除き、手術件数7件以上(件数上位25%)の67施設を解析対象とした。術前在院日数は1~4日に分布していて施設間のバラツキは小さく、術後在院日数も約1~2週間の分布であった。

子宮の良性腫瘍症例における一入院当たりの診療報酬点数〔出来高換算〕平均値(N = 4,370)

分類名	解析対象DPC番号の範囲	解析内容	パーセンタイル										
			平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
子宮の良性腫瘍	1200603	診療報酬点数〔出来高換算〕	56,302	5,476	41,591	75,118	47,399	50,236	52,884	55,734	59,426	63,135	65,764
		特定機能病院(32施設)〔出来高換算総点数〕	57,870	5,825	45,830	75,118	51,759	53,202	54,136	56,277	60,293	65,766	66,520
		その他の参加病院(82施設)〔出来高制度の総点数〕	55,691	5,244	41,591	72,197	47,148	49,768	52,560	55,443	58,873	62,399	63,839



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、20件以上の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。

■：特定機能病院

■：その他の参加病院

【コメント】

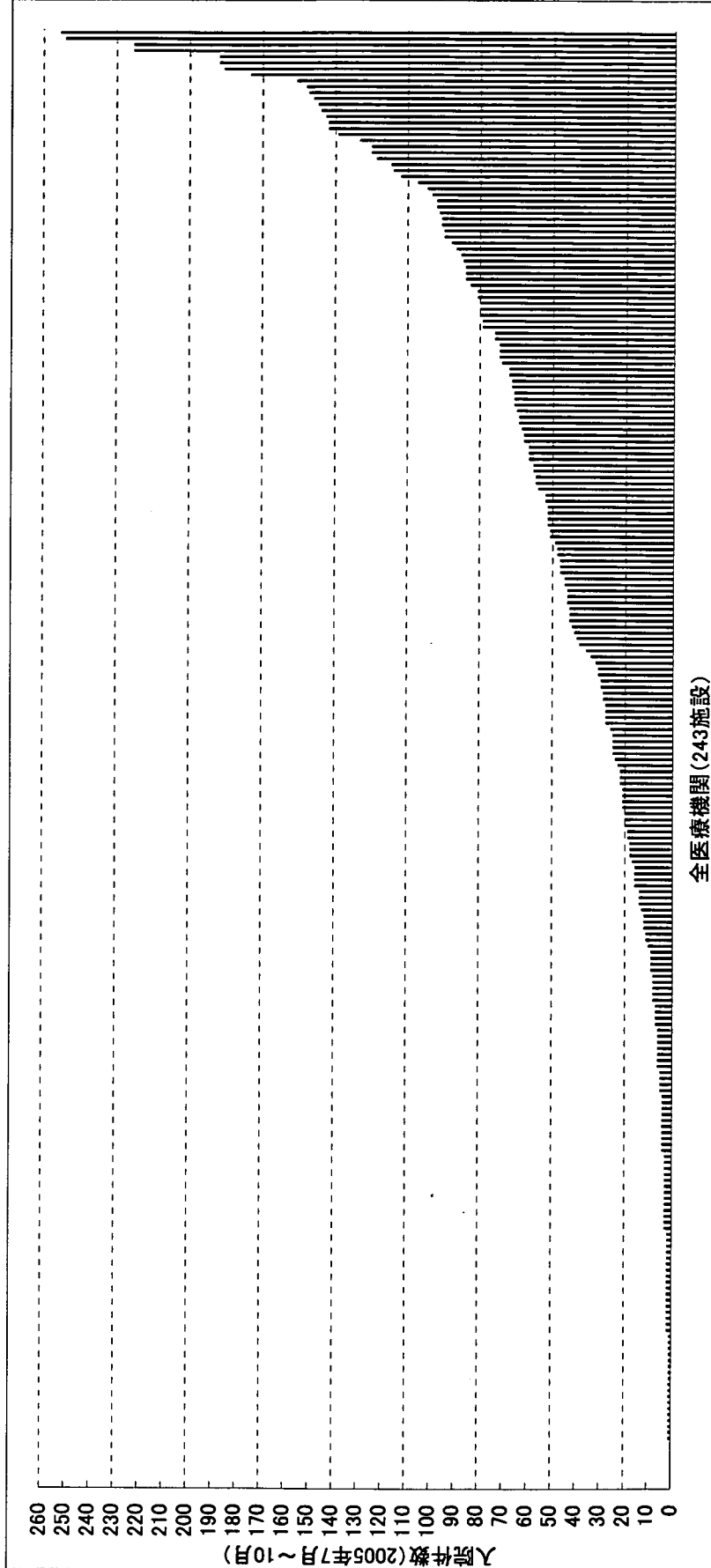
外れ値両側5%を除外し、手術件数20件以上の114施設を解析対象とした。全体では総診療報酬〔出来高〕は約6万点で、特定機能病院とその他の参加病院との間で診療報酬の差は小さかった。

MDC13

血液・造血器・免疫臓器の疾患

血液・造血系悪性疾患の入院件数

分類名	解析対象DPC番号の範囲		解析内容											
	1300103から	1300603および1300803	入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
急性白血病/非ホジキンリンパ腫/多発性骨髄腫/免疫系悪性新生物/慢性白血病/骨髄増殖性疾患/骨髄異形成症候群/再生不良性貧血			10,582	43.5	50.7	0	253	1	1	4	24	66	112	147
			10,563	43.5	50.6	0	253	1	1	4	24	66	112	147
			19	0.1	0.3	0	2	0	0	0	0	0	0	1



【図の説明】

■ : 骨髄移植を施行した件数
 【DPC手術コード:00,01,02】

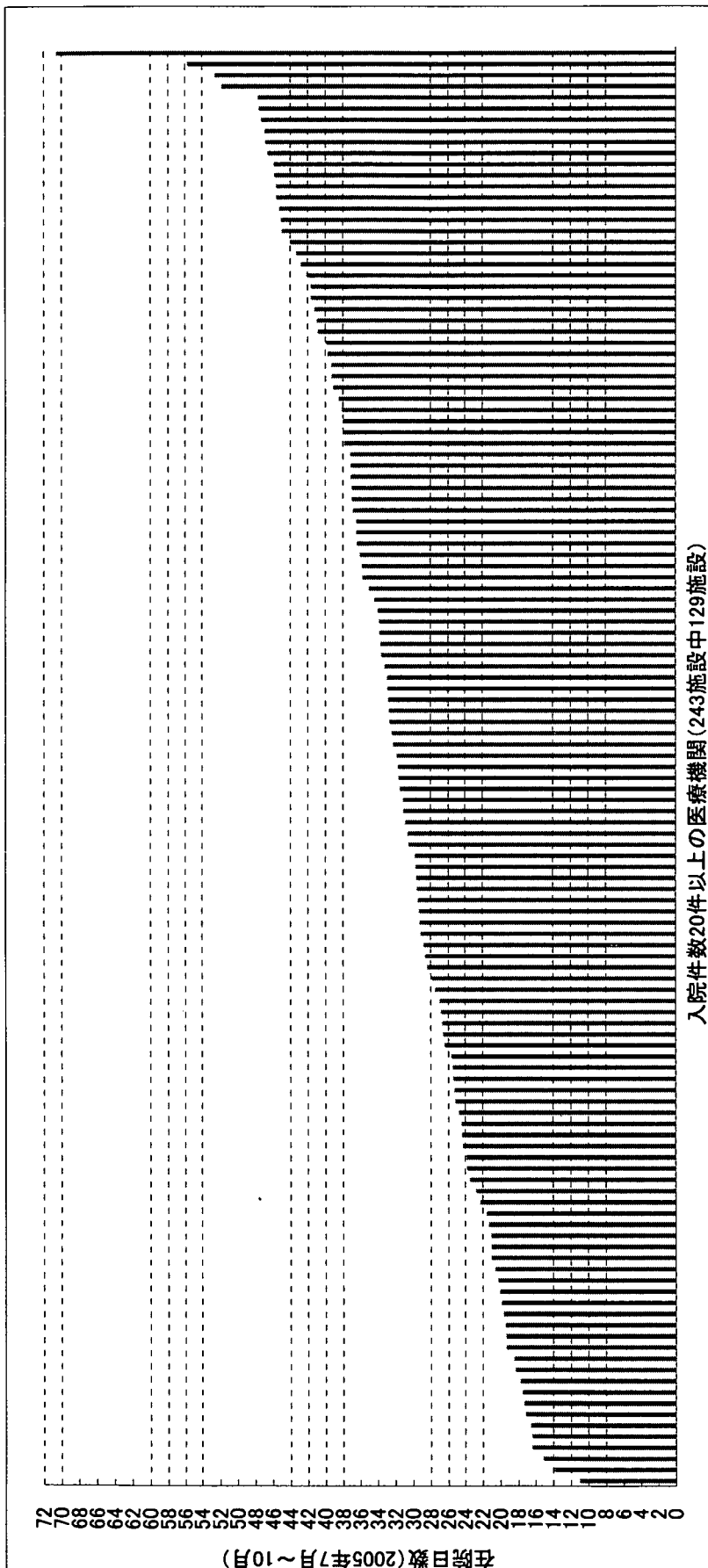
■ : 骨髄移植を施行しなかった件数
 【DPC手術コード:00,01,02以外】

【コメント】

- ・血液・造血系悪性疾患の件数1例以上の医療機関は235施設(全体の97%)において見られた。骨髄移植は、全入院の約0.2%で施行されていた。
- ・血液・造血系悪性疾患の入院が多い医療機関は、特定機能病院に多く見られた。

血液・造血系悪性疾患における平均在院日数(N = 9,525)

分類名	解析内容		パーセンタイル										
	解析対象DPC番号の範囲	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
急性白血病/ホジキン病/非ホジキンリンパ腫/多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物/慢性白血病、骨髄増殖性疾患/骨髄異形成症候群/再生不良性貧血	1300103から1300603および1300803	在院日数	32.0	10.1	11.0	70.5	17.2	19.4	24.5	31.7	38.1	45.6	47.1



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数20件以上の施設を解析対象とした。

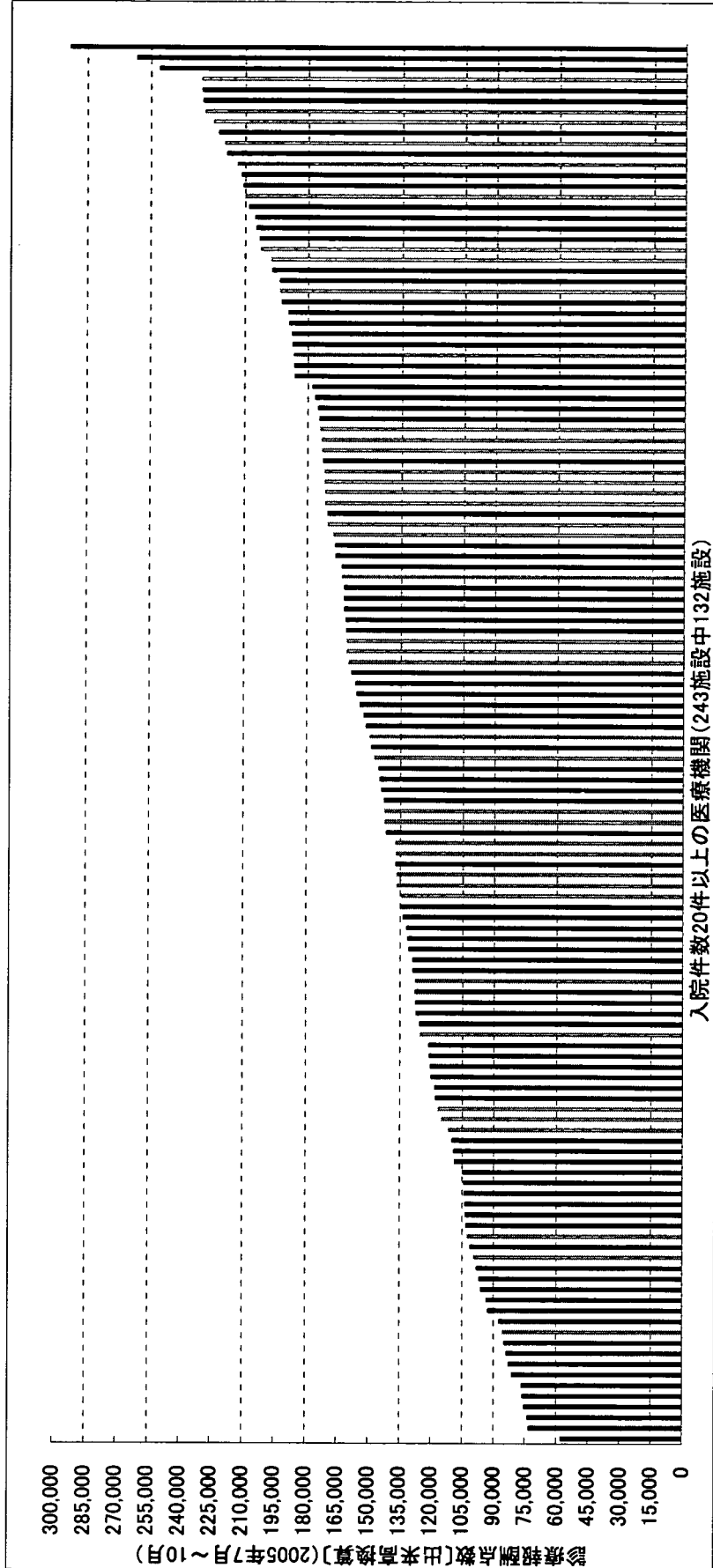
■ : 平均在院日数

【コメント】

・血液・造血系悪性疾患の平均在院日数は、11.0日から70.5日まで6倍のバラツキがみられた。

血液・造血系悪性疾患における一入院当たり診療報酬点数〔出来高換算〕平均値(N = 9,461)

分類名	解析内容										パーセンタイル				
	急性白血病/ホジキン病/非ホジキンリンパ腫/多発性骨髄腫/免疫系悪性新生物/慢性白血病/骨髄増殖性疾患/骨髓異形成症候群/再生不良性貧血	診療報酬点数〔出来高換算〕	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95		
特定機能病院(40施設)〔出来高換算総点数〕	161,352	151,090	45,250	58,048	293,437	82,224	93,806	118,441	149,562	176,924	210,979	227,091			
その他の参加病院(92施設)〔出来高換算の総点数〕	146,628	161,352	37,175	85,671	230,959	102,564	114,922	136,889	162,254	177,323	214,521	225,423			
		146,628	47,842	58,048	293,437	76,387	85,230	107,940	143,548	176,924	208,225	226,099			



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数20件以上の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。

■:特定機能病院

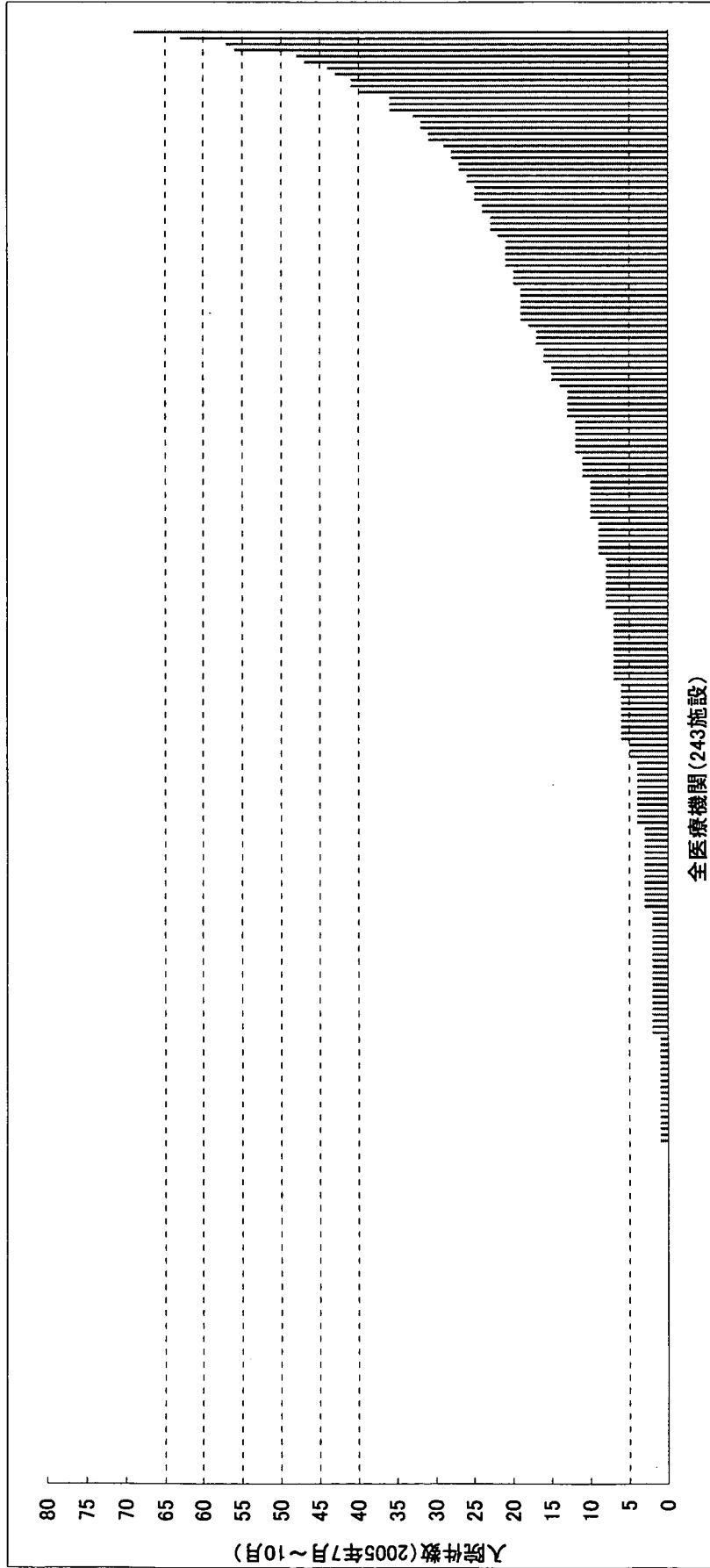
■:その他の参加病院

【コメント】

・血液・造血系悪性疾患の診療報酬点数〔出来高換算〕(一入院当たり)は、特定機能病院の方が高い傾向にあった。

急性白血病の入院件数

解析対象DPC番号の範囲	1300103											
分類名	急性白血病											
解析内容	入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	パーセンタイル						
急性白血病	2,358	9.7	12.6	0	69	5	10	25	50	75	90	95
	入院件数					0	0	1	5	13	26	36



【図の説明】

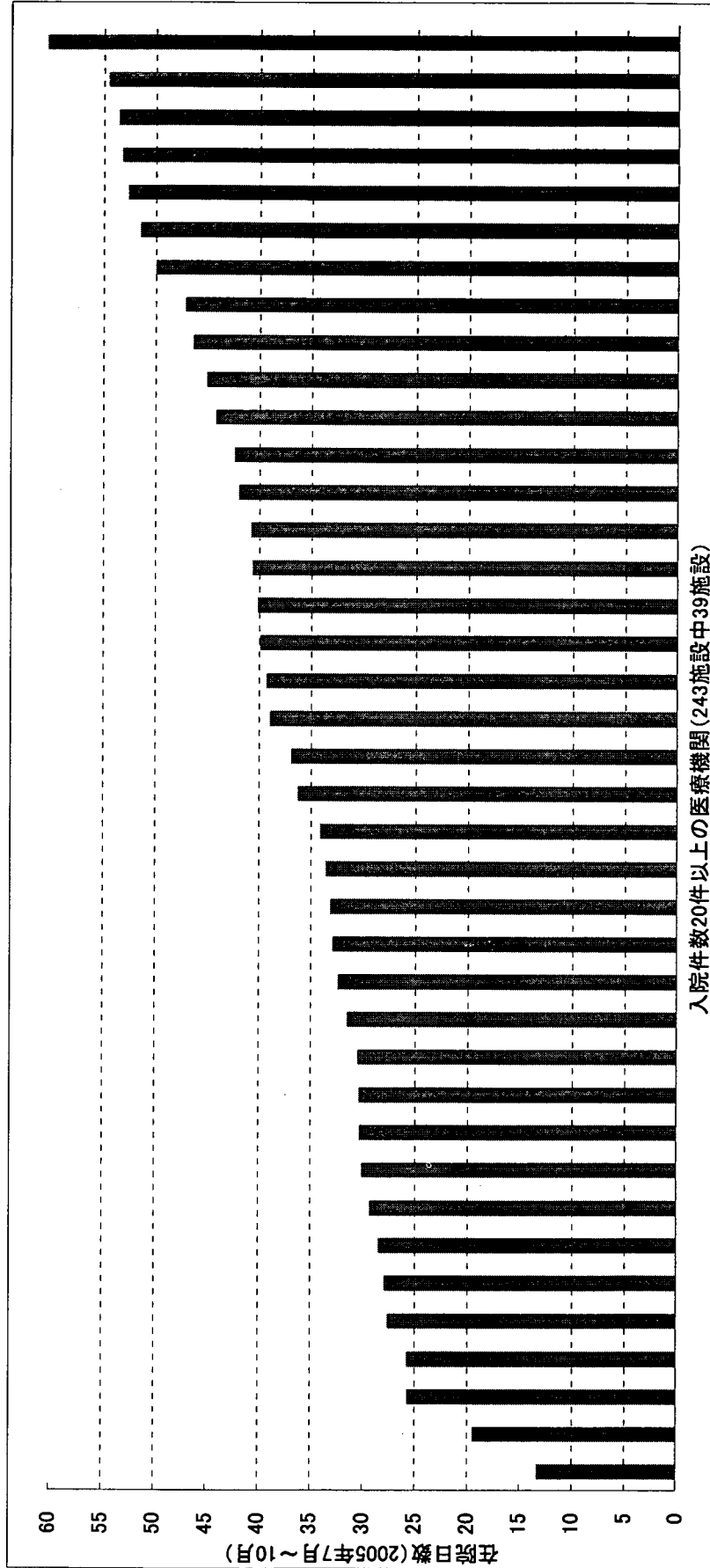
■ : 急性白血病の件数

【コメント】

- 急性白血病の件数1例以上の医療機関は186施設(全体の76%)において見られた。
- 急性白血病の件数の多い医療機関は、特定機能病院に多く見られた。
- 急性白血病の件数は、医療機関でバラツキが見られた。

急性白血病における平均在院日数(N = 1,259)

解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル										
分類名	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
急性白血病	在院日数	37.8	10.4	13.3	60.5	25.1	27.3	30.4	37.0	44.7	52.8	53.7



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数20件以上の施設を解析対象とした。

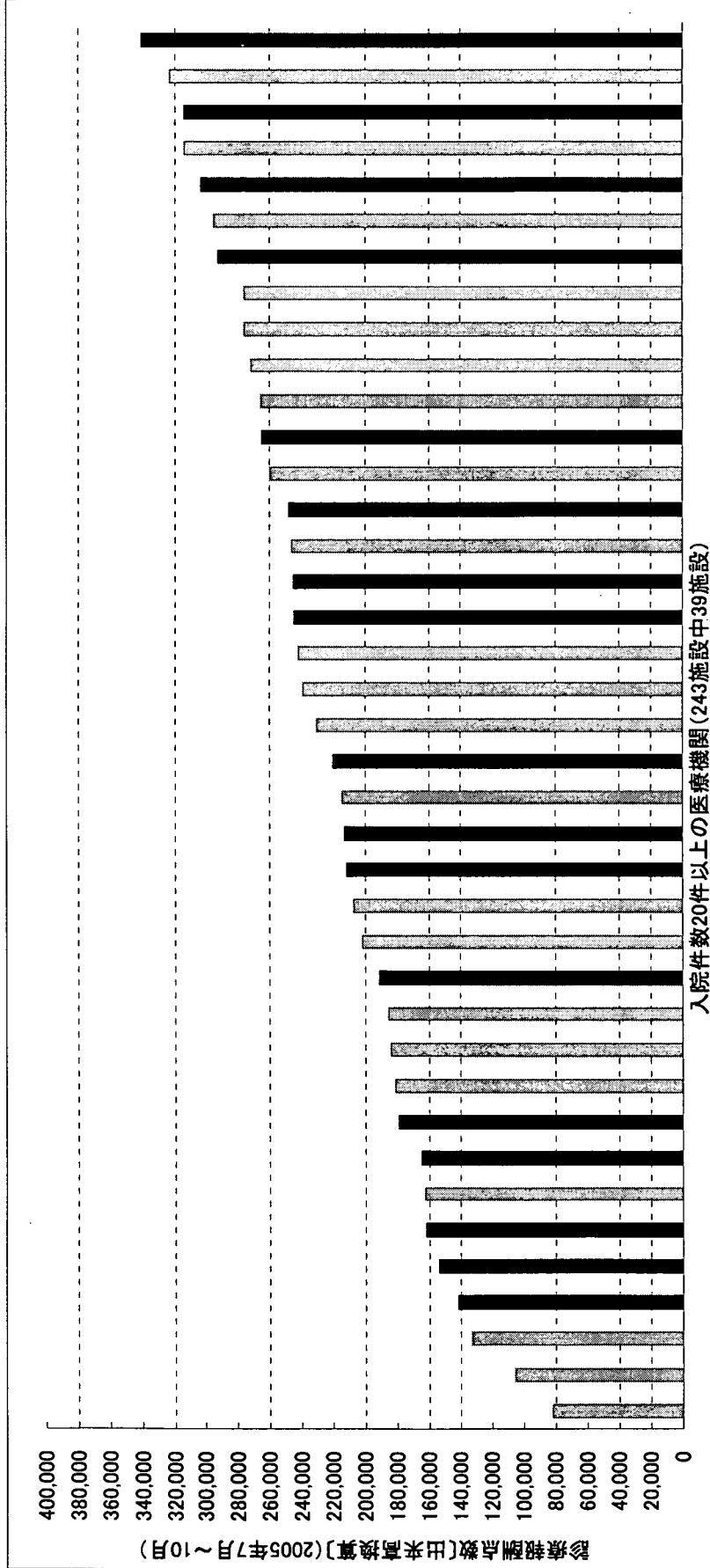
■ : 平均在院日数

【コメント】

・急性白血病の平均在院日数は、医療機関で大きなバラツキが見られた。

急性白血病における一入院当たり診療報酬点数〔出来高換算〕平均値(N = 1,237)

分類名	解析対象DPC番号の範囲	1300103	パーセントाइル										
			解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90
急性白血病	診療報酬点数〔出来高換算〕		225,671	61,760	82,556	341,088	130,307	151,701	183,152	230,689	269,076	305,545	315,355
	特定機能病院(22施設)〔出来高換算総点数〕		222,986	64,267	82,556	323,483	107,484	135,998	184,763	235,011	270,655	293,656	313,474
	その他の参加病院(17施設)〔出来高換算の総点数〕		229,144	60,128	142,022	341,088	151,701	158,978	179,257	220,422	265,326	307,777	319,779



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数20件以上の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。

■：特定機能病院

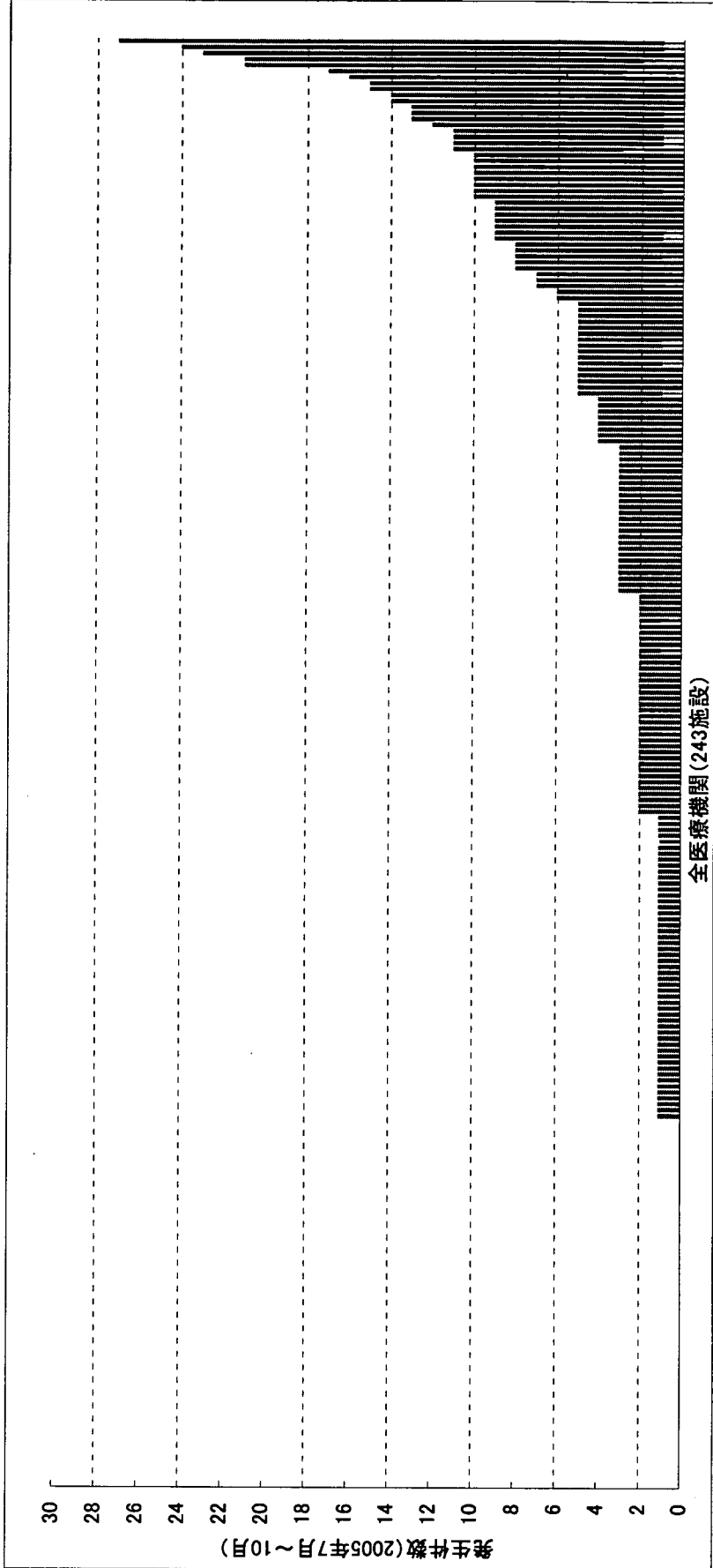
■：その他の参加病院

【コメント】

・急性白血病の診療報酬点数〔出来高換算〕(一入院当たり)は、その他の参加病院の方が高い傾向があった。

年齢別・播種性血管内凝固症候群(DIC)の発生数

分類名	解析内容	発生件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	パーセンタイル									
							5	10	25	50	75	90	95			
播種性血管内凝固症候群(DIC)	DICの件数(全年齢)	830	3.4	4.7	0	27	0	0	0	2	4	10	13			
	DICの件数(15歳以上)	803	3.3	4.5	0	26	0	0	0	2	4	10	13			
	DICの件数(1~14歳)	21	0.1	0.4	0	3	0	0	0	0	0	0	1			
	DICの件数(乳児)	6	0.0	0.2	0	1	0	0	0	0	0	0	0			



【図の説明】

: DICの件数(乳児)
 : DICの件数(1~14歳)
 : DICの件数(15歳以上)

【コメント】

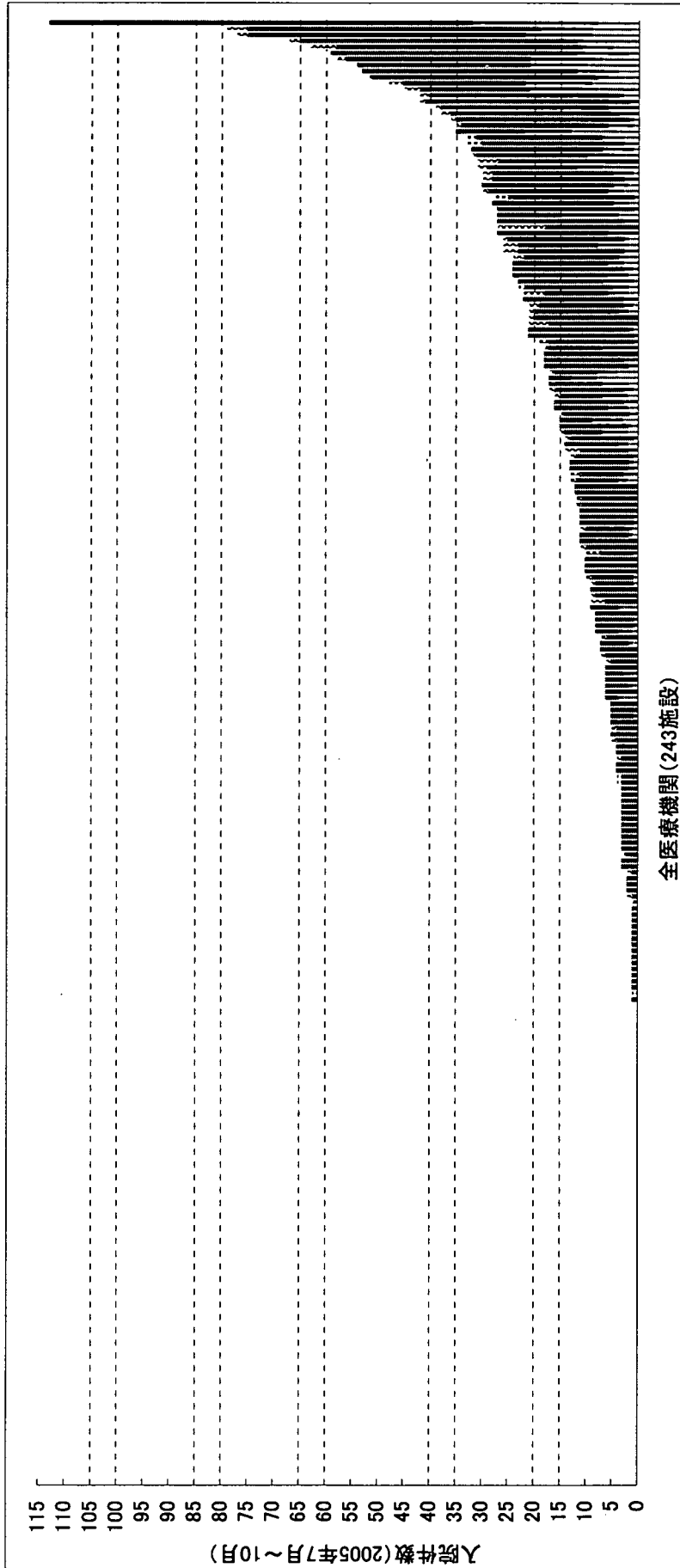
- ・播種性血管内凝固症候群(DIC)の件数1例以上の医療機関は181施設(全体の74%)において見られた。
- ・DICの件数のほとんどは15歳以上の患者であった。
- ・入院後にDICを合併した件に関してはMDC横断的解析の5~7を参照。

MDC14

新生児疾患、先天性奇形

妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害の入院件数

分類名	解析内容	パーセンタイル												
		入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95	
妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害	出生時体重1000g未満	188	1	2	0	13	0	0	0	0	0	0	2	4
	出生時体重1000g以上1500g未満	354	1	3	0	24	0	0	0	0	0	2	5	7
	出生時体重1500g以上2500g未満	2,091	9	12	0	81	0	0	0	4	12	24	33	33
	出生時体重2500g以上	123	1	1	0	9	0	0	0	0	1	2	3	3



全医療機関(243施設)

【図の説明】

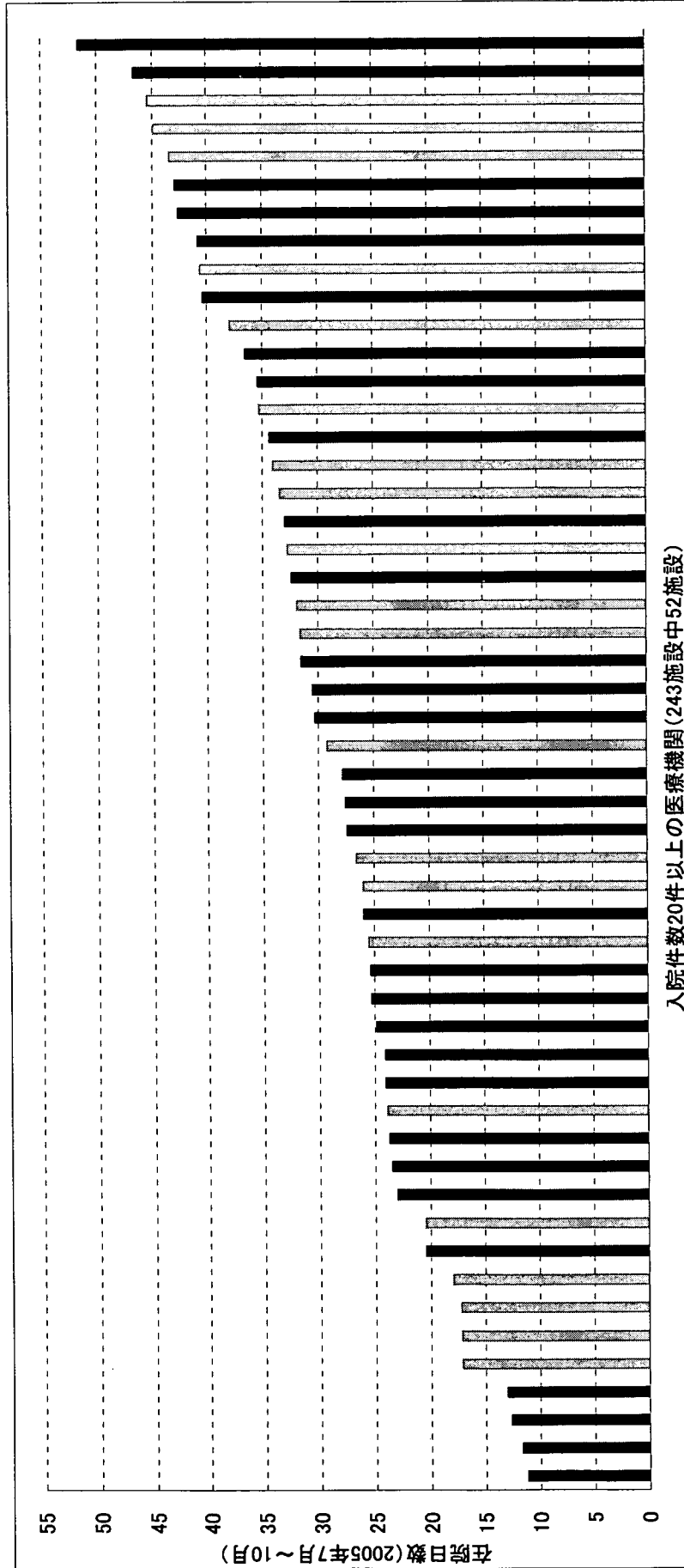
- : 出生時体重1000g未満
- : 出生時体重1000g以上1500g未満
- : 出生時体重1500g以上2500g未満
- : 出生時体重2500g以上

【コメント】

- ・妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害の入院件数は、MDC14の全件数の約16%を占めていた。
- ・全体の67%(163施設)において1件以上の件数が見られた。

妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害(出生時体重1500g以上2500g未満)における平均在院日数(N = 1,834)

分類名	解析内容	パーセンタイル										
		平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害	平均在院日数/特定機能病院(21施設)	30.2	9.2	17.1	45.5	17.2	17.2	24.0	31.7	35.4	43.5	45.0
	平均在院日数/その他の参加病院(31施設)	29.1	10.1	11.2	51.7	12.2	13.0	23.9	27.6	34.9	42.7	44.9



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数20件以上の施設を解析対象とした。

■ : 特定機能病院(21施設)

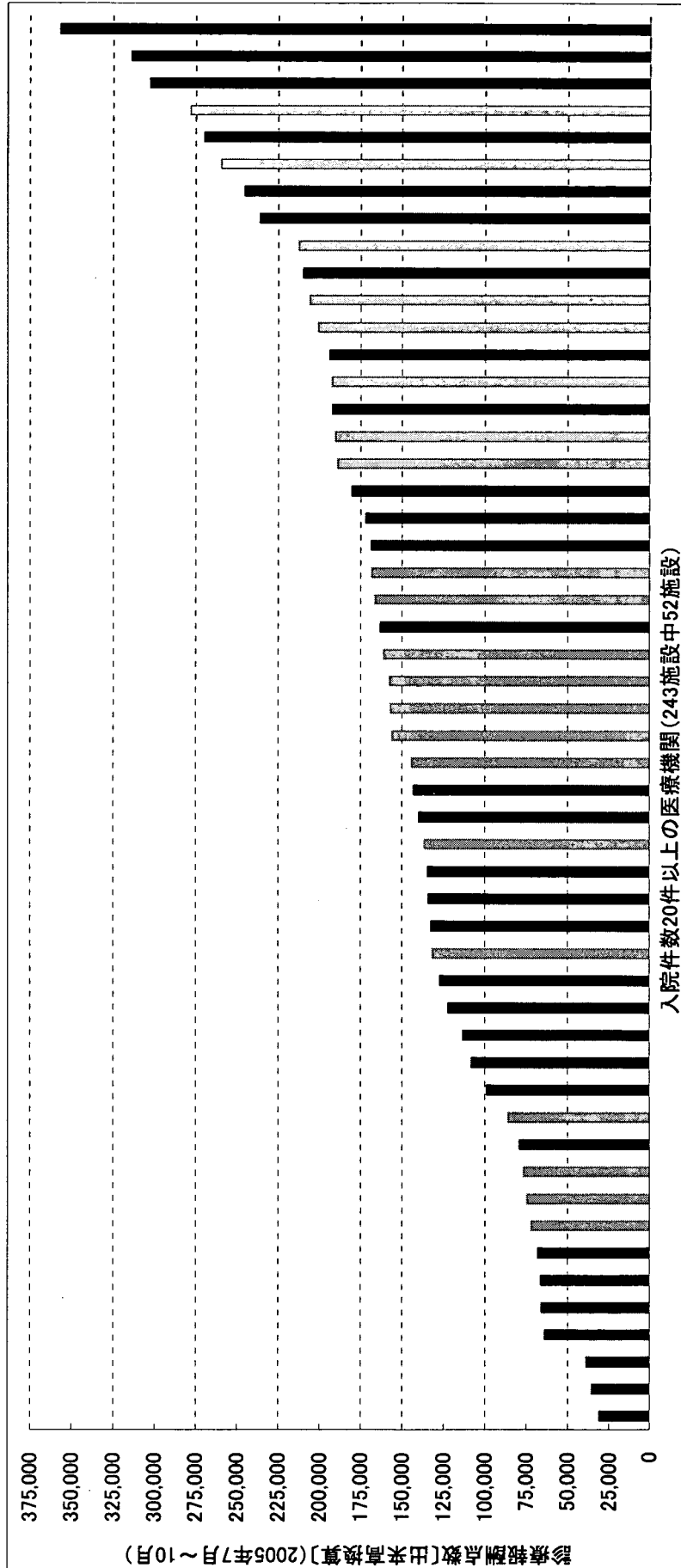
■ : その他の参加病院(31施設)

【コメント】

- ・最長の施設は最短の施設の5倍近く、施設間のバラツキが認められた。
- ・外れ値下位2.5%未満に63件が相当したが、そのうち18件と7件と6件がそれぞれ1施設で占められていた。

妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害(出生時体重1500g以上2500g未満)における一入院当たり診療報酬点数[出来高換算]平均値(N = 1,829)

分類名	解析内容	パーセンタイル										
		平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害	平均診療報酬[出来高換算点数]/特定機能病院(21施設)	163,145	55,867	72,195	278,716	75,152	76,974	137,119	161,749	192,785	212,761	260,259
	平均診療報酬[出来高換算点数]/その他の参加病院(31施設)	152,137	84,431	31,249	357,227	37,462	64,171	89,323	134,886	193,362	270,122	308,668



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数20件以上の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。

■:特定機能病院[21施設]

■:その他の参加病院[31施設]

【コメント】

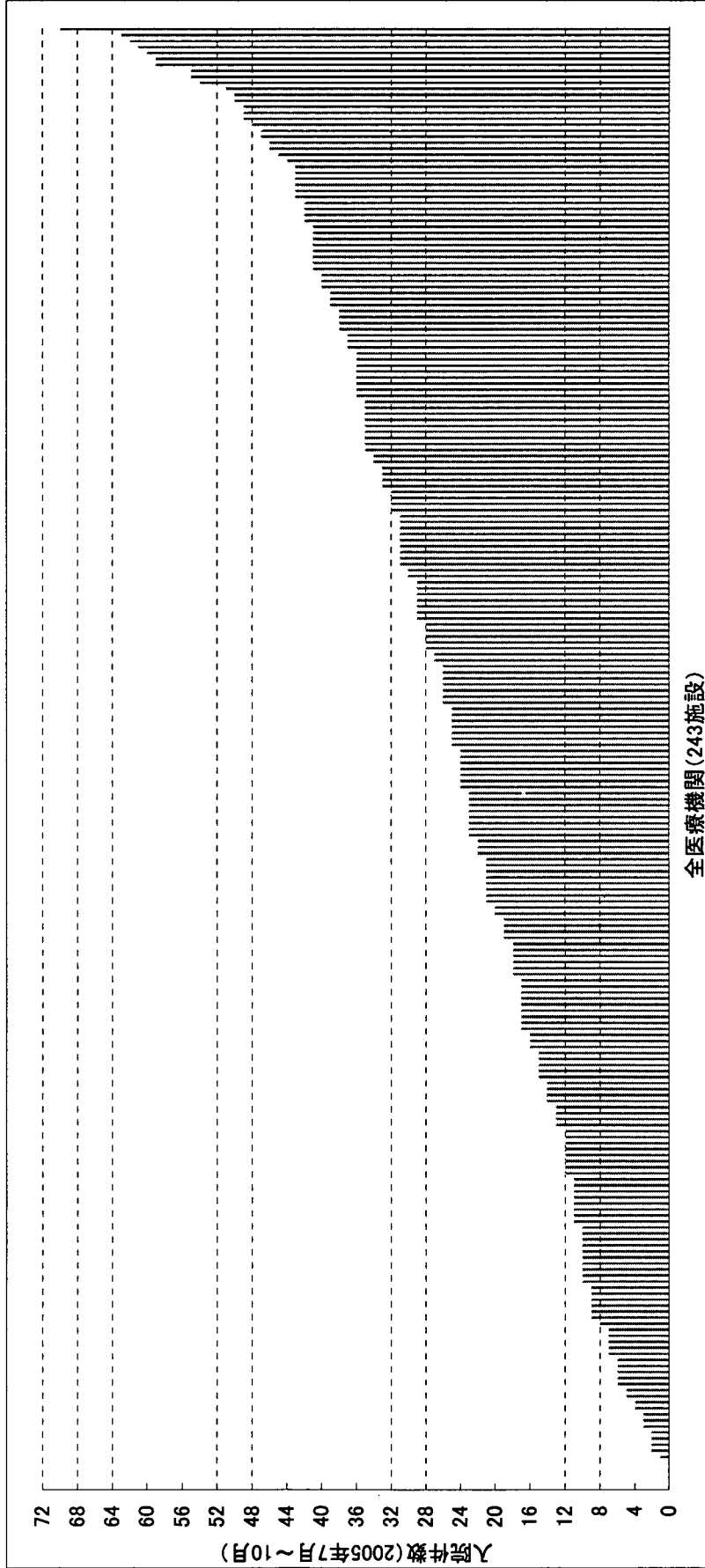
・平均診療報酬も在院日数を反映しているが、最大の施設が最小の施設の10倍以上とさらに大きなバラツキがみられた。

MDC15

小兒疾患

ウイルス性腸炎の入院件数(検査入院を含む)

解析対象DPC番号の範囲	1500101/ 1500103		パーセンタイル											
分類名	解析内容		入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
ウイルス性腸炎	ウイルス性腸炎の入院件数(検査入院を含む)		6,138	25.3	14.7	0	70	3	7	13	24	36	43	50



全医療機関(243施設)

【図の説明】

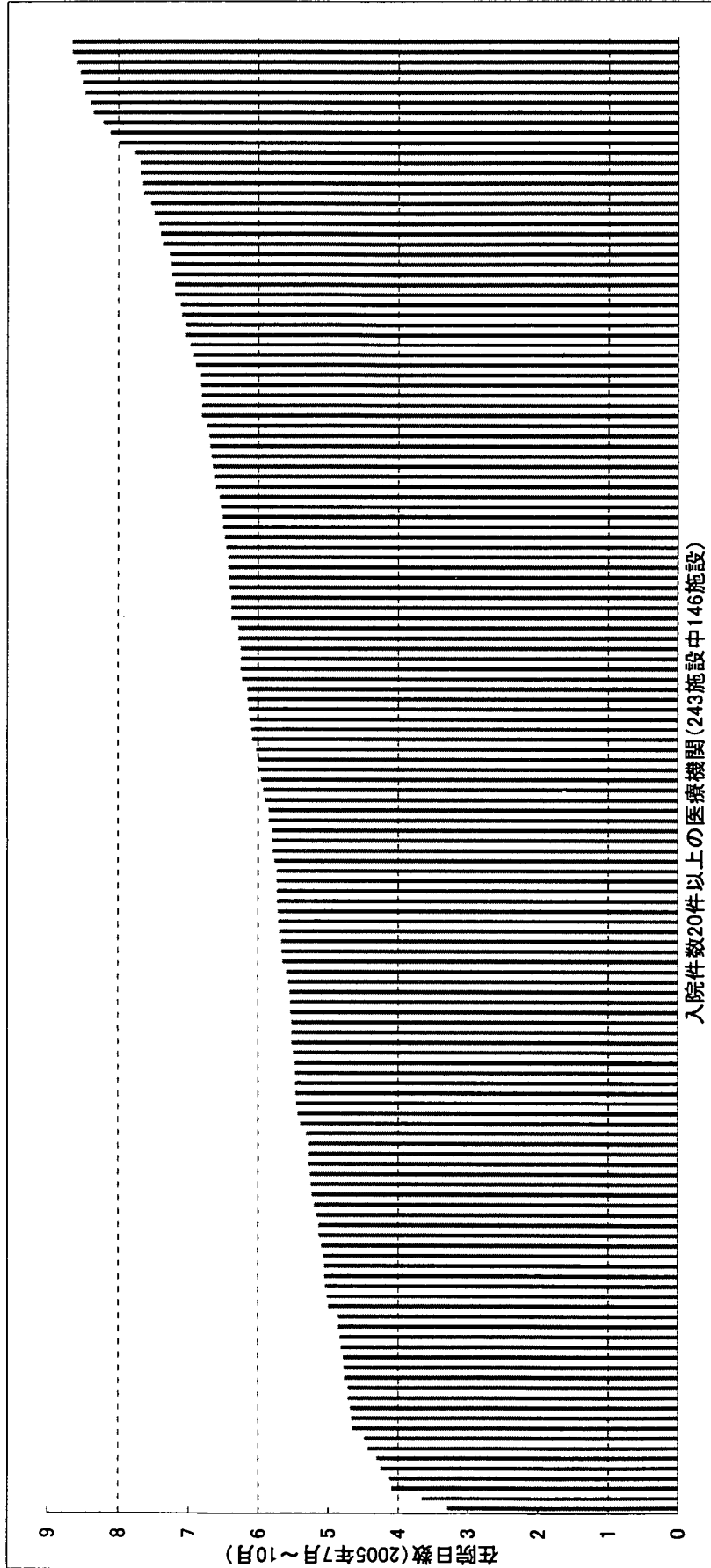
■:ウイルス性腸炎(検査入院を含む)の入院件数

【コメント】

- ・ウイルス性腸炎(検査入院を含む)の入院件数は、MDC 15の全入院件数の約69%を占めていた。
- ・ウイルス性腸炎(検査入院を含む)の入院件数1件以上の医療機関は238施設(全体の98%)において見られた。
- ・ウイルス性腸炎(検査入院を含む)の入院件数が多い医療機関は、特定機能病院よりその他の参加病院の方に多く見られた。

ウイルス性腸炎における平均在院日数(検査入院含む)(N = 4,959)

分類名	解析対象DPC番号の範囲	解析内容	パーセンタイル										
			平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
ウイルス性腸炎	1500101/ 1500103	ウイルス性腸炎の在院日数(検査入院含む)	6.1	1.1	3.3	8.7	4.5	4.8	5.3	6.0	6.8	7.7	8.3



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数20件以上の施設を解析対象とした。

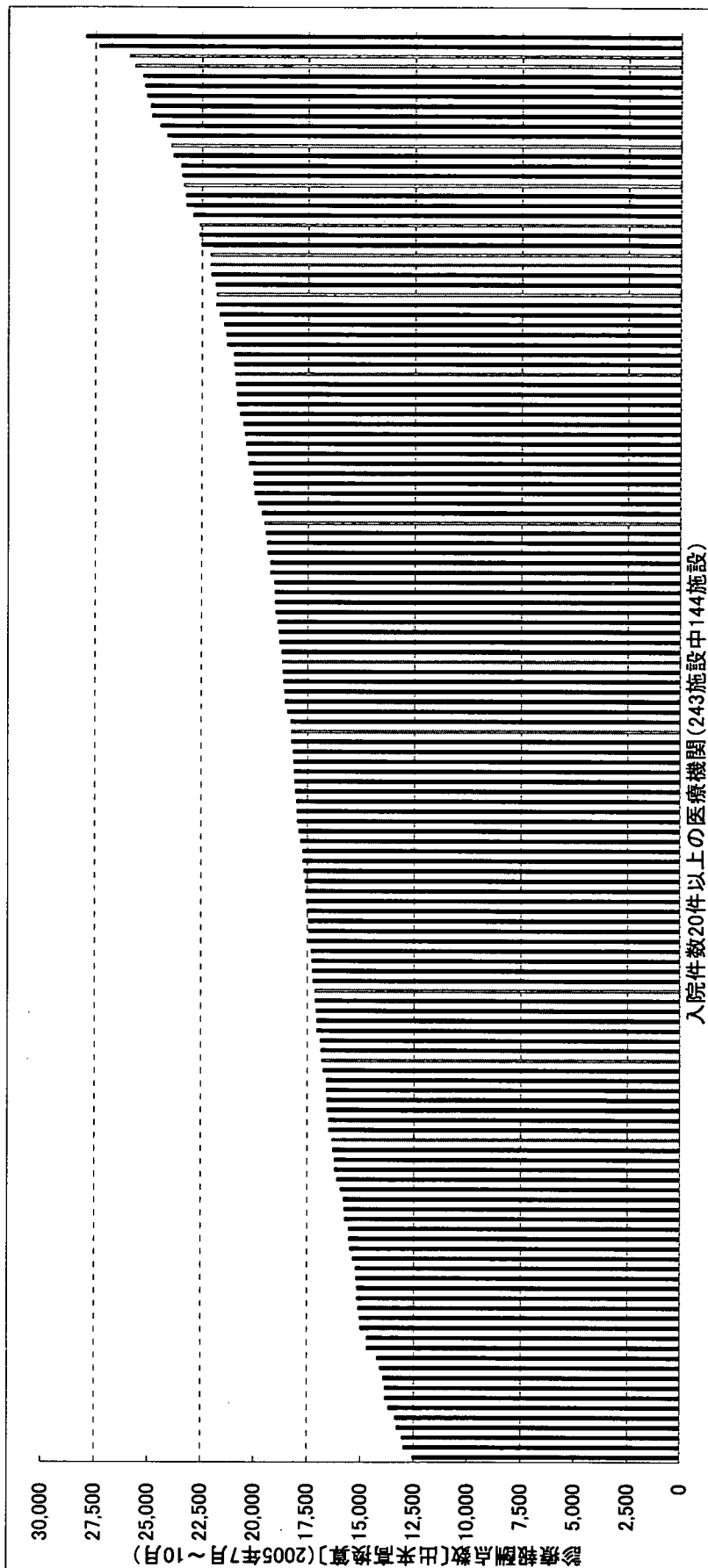
■:ウイルス性腸炎(検査入院を含む)の平均在院日数

【コメント】

・ウイルス性腸炎(検査入院を含む)の平均在院日数は、ほとんど均一であった(3.3日から8.7日)。

ウイルス性腸炎(検査入院含む)における一入院当たり診療報酬点数〔出来高換算〕平均値(N = 4,792)

分類名	解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル											
	1500101/	1500103	解析内容											
ウイルス性腸炎	診療報酬点数〔出来高換算〕	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95		
	特定機能病院(15施設)〔出来高換算総点数〕	21,047	3,105	16,368	25,920	16,705	16,975	18,503	21,863	23,030	25,009	25,760		
	その他の参加病院(129施設)〔出来高制度の総点数〕	18,528	3,176	12,545	27,967	13,651	14,960	16,512	18,102	20,445	23,260	24,713		



入院件数20件以上の医療機関(243施設中144施設)

【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数20件以上の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。

■ : 特定機能病院

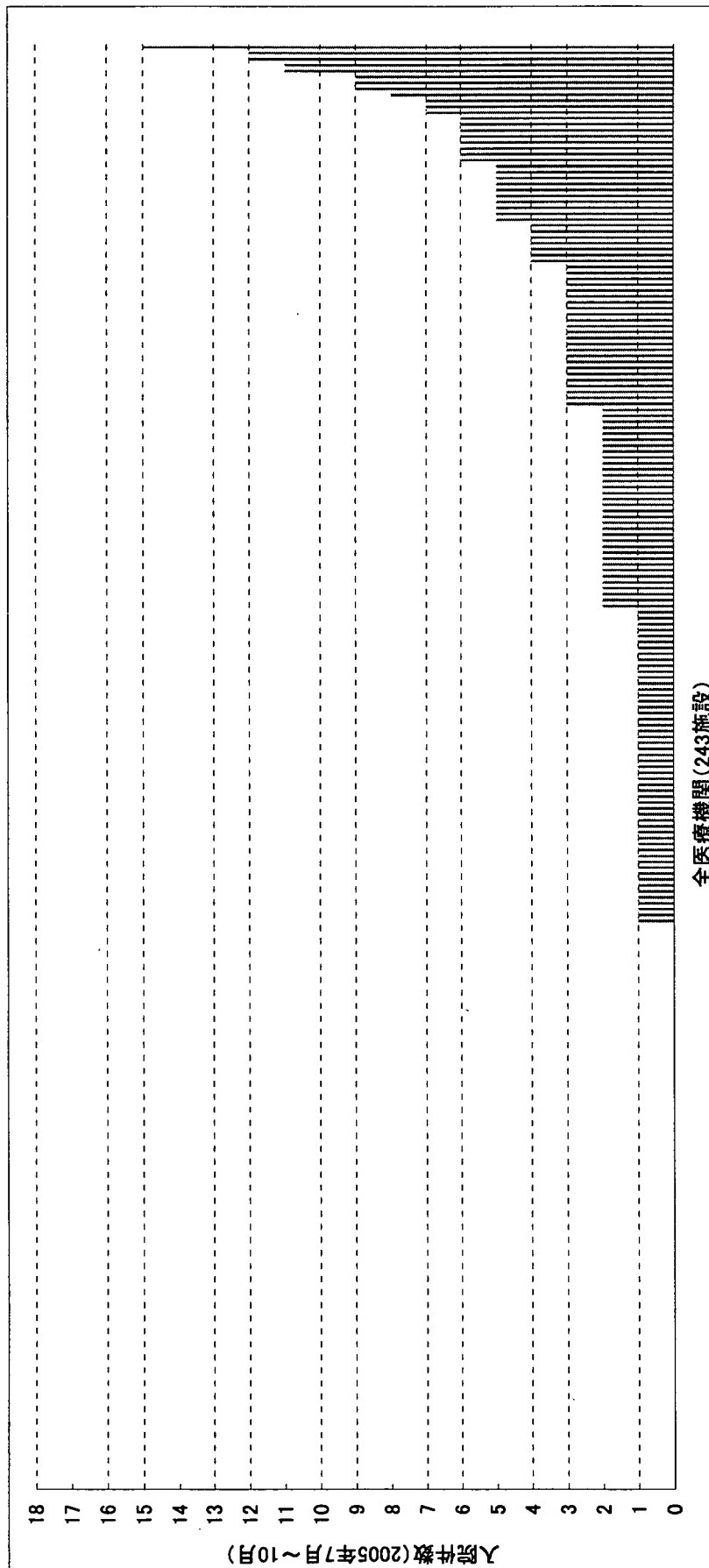
■ : その他の参加病院

【コメント】

・ウイルス性腸炎(検査入院含む)の一入院当たり診療報酬点数〔出来高換算〕は、特定機能病院の方が高い傾向にあった。

ウイルス性髄膜炎／急性脳炎・急性脳症の入院件数

解析対象DPC番号の範囲	150050/150030		パーセンタイル										
分類名	解析内容	入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
ウイルス性髄膜炎／急性脳炎・急性脳症	ウイルス性髄膜炎／急性脳炎・急性脳症	436	1.8	2.5	0	15	0	0	0	1	3	5	6



【図の説明】

■:ウイルス性髄膜炎／急性脳炎・急性脳症の入院件数

全医療機関(243施設)

【コメント】

- ・ウイルス性髄膜炎／急性脳炎・急性脳症の入院件数1件以上の医療機関は148施設(全体の60%)において見られた。
- ・ウイルス性髄膜炎／急性脳炎・急性脳症の入院件数は、医療機関でバラツキがあった。